

新年おめでとうございます。

今年も心弾む様々な公演をお届けします。どうぞよろしくお願いいたします。

2022年のテアトルフォンテは新春特選会の初笑いで始まり、2月12日(土)は昨年に続き、日本、いえ世界の古典音楽として非常に高く評価されてきている“雅楽”をお届けします。今回は宮廷や社寺の各種行事や法会などに採用され、いわゆる雅楽の最も中心的、重要な部分として継承された“舞楽”、舞を伴う雅楽公演です。よりわかりやすく親しんでいただくためにレクチャー付きの公演といたしました。どうぞお誘い合わせてご来場ください。ご出演の真鍋尚之さんに雅楽についての第2弾を寄稿していただきました。併せてお楽しみいただければ幸いです。



第2回目となるテアトルフォンテでの『雅楽(ががく)新春の調べ』。

前回2021年1月の公演では器楽と歌の演奏で雅楽の多様な世界を堪能していただきましたが、今回はさらに舞(まい)を伴う「舞楽(ぶがく)」の演奏もお聞きいただけます。



雅楽とは？

雅楽というとなぜ最初に越殿楽(えてんらく)(越天楽(えてんらく))に代表される箏(ひちりき)や笙の独特な響きを思い浮かべる方が多くいらっしゃると思います。しかし雅楽には器楽合奏のみならず、歌や舞など非常に多くの変化に富んだジャンルがあり、曲目も日本古来のものから中国大陸や朝鮮半島に由来するものまで様々です。

世界最古のオーケストラといわれる雅楽は大宝律令で雅楽寮(うたまいのつかさ)が制定された701年に遡る事ができます。中国大陸や朝鮮半島から輸入された音楽や舞「外来の音楽」は当時の日本人の好みに合うよう数百年の歳月をかけ選定され改編されていきました。また日本に大陸文化がもたらされる前から行われていた宮中(きゅうちゅう)祭祀(さいし)などの音楽に「日本古来の歌舞」があります。平安時代は雅楽が最も盛んに演奏され、独自の曲も作られていきました。現在聞く雅楽はこの時代に成立し、ほぼ形を変えていないと言われています。千年前に聞いていた音楽を現在も同じ様式で演奏しているのです。

雅楽の演奏形態

管絃

「外来の音楽」は器楽合奏による管絃(かんげん)と舞を伴う舞楽(ぶがく)の演奏形態があります。用いられる楽器は3種の打楽器(打物(うちもの)；鞆鼓(かっこ)、太鼓(たいこ)、鉦鼓(しょうこ))、2種の絃楽器(弾物(ひきもの)；楽琵琶(がくびわ)、楽箏(がくそう))、3種の管楽器(笙(しょう)、篳篥(ひちりき)、笛(ふえ))で管絃楽(オーケストラ)の語源ともなっています。

舞楽

絹織物に無数の刺繍が施された豪華絢爛な舞楽装束を身にまとい、雅楽の伴奏により舞われるのが舞楽(ぶがく)です。面をつけ一人で舞うものから、四人または六人で舞うものがあり、また舞ぶりはゆっくりのものから、走るように素早く動くものまで多様です。

舞(まい)ぶり

文舞(ぶんのまい)は平舞(ひらまい)とも呼ばれゆっくりと優雅に舞うのが特徴で四人または六人舞。武舞(ぶのまい)は帯剣し、鉦(ほこ)を持つ舞で勇壮な舞ぶりが特徴。走舞(はしりまい)は素早い動きが特徴でその舞特有の装束で面をつけて舞います。他に子供が舞う童舞(わらべまい・どうぶ)もあります。

左方と右方

現在でも京都には左京区と右京区があるように当時の朝廷は左大臣や右大臣など中国の政治システムを多く取り入れていました。雅楽の舞にもこれを取り入れ曲の系統や装束の彩色により左方舞と右方舞に分たのです。左方は唐楽(中国大陸系の音楽)に赤色・

金色系統の装束を着け旋律に合わせて舞うのが特徴であるのに対し、右方は高麗楽(朝鮮半島系の音楽)に緑色・銀色系統の装束を着け打物のリズムに合わせて舞います。

納曽利

(なそり)

右方の走舞である納曽利は舞楽の中でも最も有名で演奏される機会の多い舞です。別名を双龍(そうりゅう)舞(まい)とも言い二匹の龍が仲良く戯れている様子を舞にしたとも言われます。本公演では一人舞で上演します。二人で舞うものを納曽利、一人で舞うものを落蹲(らくそん)という別名もあります。

龍を模した牙を持つ面を着け、毛縁褌襦(けべりりょうとう)装束に銀色の桴(ばち)を持ち高麗楽(こまがく)を伴奏に舞われます。高麗楽の特徴は唐楽と異なり笙が用いられず、打物の特徴的なリズムが印象的です。



真鍋尚之

雅楽 新春の調べ ～管絃と舞楽の世界～

2022年2月12日(土) 13:30 開場

14:00 ～ 14:20 レクチャー

14:30 ～ 16:00 (予定) コンサート

詳細はこちらから。→



開催日	時間	ホール（催し物タイトル / 内容）	料金	主催者・問合せ
1 (土) 2 (日) 3 (月)		休 館 日		
F 5 (水) 6 (木) 7 (金)	10:00～19:45	ホールでグランドピアノをひいてみませんか♪ チケットペイにて開催日前々日まで申込み受付中。	1 時間：1,800 円 2 時間：3,600 円	テアトルフォンテ 045-805-4000
F 11 (火) 12 (水)	10:00～18:45	ホールで好きな音楽を聴きませんか♪ 当館の音響機材を使って好きな音楽をお聴きいただけます。	2,500 円 / 1 枠 (2 時間) ※最大 5 名までご利用いただけます。(入替不可)	テアトルフォンテ 045-805-4000
F 15 (土)	開演 14:00	イツ・フォンテシリーズ ふおんて寄席「新春特選会」 若手、中堅、大看板揃い踏み。 テアトルフォンテが選んだ特別企画をお届けします。	【前売券】一般：4,000 円 泉区民・メンバーズ：3,800 円 学生：3,500 円 【当日券】一般：4,500 円 泉区民・メンバーズ：4,300 円 学生：4,000 円	テアトルフォンテ 045-805-4000
18 (火)		休 館 日		
F 26 (水) 27 (木)	10:00～19:45	ホールでグランドピアノをひいてみませんか♪ チケットペイにて開催日前々日まで申込み受付中。	1 時間：1,800 円 2 時間：3,600 円	テアトルフォンテ 045-805-4000
29 (土)	開演 13:30	初吟会 新たな年を迎えて初めて吟ずる。 希望に満ちた年にそれぞれの思いを胸に詩吟を吟じます。	無料	一般社団法人 詩吟朗詠錦城会 0463-55-7246 (佐藤)

F マークがついている催しはテアトルフォンテ主催事業です。窓口、電話予約でチケットをご購入いただけます。
 「ホールでグランドピアノをひいてみませんか♪」はチケットペイでお申し込みください。

T マークがついている催しは、主催者よりチケットをお預かりしている公演です。テアトルフォンテ窓口でご購入できます。

※横浜市文化施設新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに沿って施設をご利用いただいております。詳しくは HP をご覧ください。http://theatre-fonte.com/
 ※チケット販売枚数やチケット購入方法、施設利用予約については今後の状況により変更となる場合がありますのでご了承ください。

チケット購入方法
 横浜市泉区民文化センターテアトルフォンテ TEL：045-805-4000
 受付時間：9:00～21:00（年末年始・休館日を除く）
 ▶窓口販売 当館窓口にご来店ください。
 ▶電話予約 お電話にて座席の予約を承ります。予約日から1週間以内に当館窓口にてチケットをお引き取り下さい。
 お振込みの場合は、電話予約後、各指定期日までにチケット代金にチケット発送手数料（100 円）を加えた金額をお振込みください。※振込手数料はお客様のご負担となります。※お振込確認後、チケットをお送りします。
 ・ゆうちょ銀行 郵便局振替口座：00260-0-142082 / 口座名：株式会社 神奈川共立
 ・他銀行からお振込みの場合 銀行名：ゆうちょ銀行 / 支店名：〇二九（ゼロニーキュー） / 当座預金
 口座名：株式会社 神奈川共立 / 口座番号：0142082
 ※お振込先の「株式会社 神奈川共立」は横浜市泉区民文化センター テアトルフォンテの指定管理者です。
 ▶インターネット購入（24 時間購入できます）
 ・チケットペイ https://www.ticketpay.jp から「テアトルフォンテ」で検索。
 ※チケット発券の際に所定の手数料がかかります。※催事によっては取り扱いのない場合もありますのでご了承ください。

施設利用のご案内
 当館のホール・ギャラリー・リハーサル室・会議室・創作室をご利用(貸館)の際は、「横浜市民利用施設予約システム」よりご予約下さい。

◎横浜市民利用施設予約システム
 ▶ご利用時間：毎日午前6:00から翌午前2:00まで
 ▶TEL・FAX：045-754-4919
 ▶インターネット：
 (パソコン)https://yoyaku.city.yokohama.lg.jp/ys/
 (携帯電話)https://yoyaku.city.yokohama.lg.jp/y/
 ※登録は、横浜市在住・在勤・在学のいずれかを満たす方が対象となります。 ※登録完了まで1～2週間ほどかかる場合もございます。あらかじめご了承ください。 ※登録対象外のお客さまがご利用される場合は、直接当館までお問い合わせください。

休館日 1月18日(火) ※毎月第3火曜日は休館日です。今後の状況により、臨時休館など変更となる場合があります。
 年始の休館 1月1日(土)～1月3日(月)まで。



子どもの頃、お正月といえばお年玉が楽しみでした。中学生のときに、貯めたお年玉でシンセサイザーを買いました。そんな思い出です。(館長談)

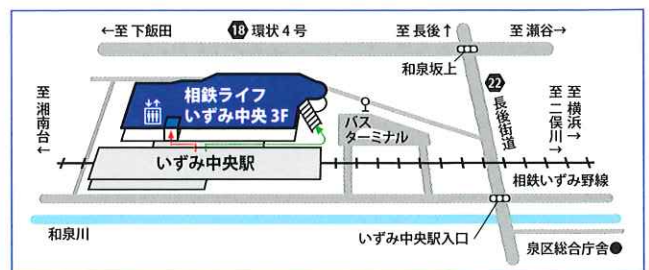
横浜市泉区民文化センター テアトルフォンテ
 指定管理者 神奈川共立・相鉄企業 共同事業体

〒245-0023 横浜市泉区和泉中央南5-4-13
 TEL.045-805-4000 FAX.045-805-4100 http://theatre-fonte.com/
 twitter @theatre_fonte Facebook @yokohama.theatre.fonte
 交通アクセス

●電車／相鉄いずみ野線「いずみ中央」駅下車徒歩1分(横浜駅から快速で約30分、湘南台駅から各停で約5分 ※通勤特急は停まりません)
 ●バス／神奈中バス「泉区総合庁舎前」下車(戸塚バスセンターから約25分、長後駅から約10分、立場ターミナルから約10分)



テアトルフォンテ公式
LINE



雅楽

新春の調べ

管絃と舞楽の世界

曲目 出演

管絃 Naoyuki MANABE GAGAKU Ensemble
双調音取 そうじょうねとり
酒胡子 しゅこし
陵王 りょうおう
神楽歌より かぐらうた

柷 さかき
舞楽

納曽利 なそり

他 (曲目は変更になる場合があります)



2022

2/12 (土)

13:30 開場

レクチャー 14:00 ~ 14:20

コンサート 14:30 ~ 16:00

※内容により時間は前後する場合があります。

横浜市泉区民文化センター

テアトルフォンテ ホール



テアトル
フォンテ

チケット 一般: 2,500円、泉区民割引・フォンテメンバーズ: 2,300円、学生 (小・中・高・大学生): 1,500円 [全席指定] 未就学児 入場不可

チケット 発売日 フォンテメンバーズ先行発売: 2021年11月12日(金) 10:00より
一般発売: 2021年11月19日(金) 10:00より

ご予約
お問い合わせ

横浜市泉区民文化センター テアトルフォンテ
TEL 045-805-4000 (9:00~20:00 休館日を除く)

※新型コロナウイルス感染症拡大予防の為、今後の状況によっては出演者や販売方法、座席数など変更になる場合があります。

【主催】 Naoyuki MANABE GAGAKU Ensemble 【共催】 横浜市泉区民文化センターテアトルフォンテ (指定管理者 神奈川共立・相鉄企業 共同事業体)

神奈川文化プログラム



雅楽は1300年もの歴史を持つ世界最古のオーケストラといわれている。その歴史は大宝律令で雅楽寮が制定された701年に遡る。使われる楽器は3種の打楽器（打物；鞆鼓、太鼓、鉦鼓）、2種の絃楽器（弾物；楽琵琶、楽箏）、3種の管楽器（笙、篳篥、笛）、さらに歌や舞も含む。中国大陸や朝鮮半島から輸入され日本化された管絃や舞楽、日本古来の歌舞、平安時代に作曲された歌曲など、器楽や舞、歌などの多岐に渡る。

今回の演奏会では、笙による《調子》の上演。笛による「木霊吹」と名付けた《品玄》の上演。篳篥による退吹の曲目の上演。日本古来の歌舞である【神楽歌】より。大陸から伝わった【管絃】、舞を伴う【舞楽】など、変化に富んだ曲目をお聞きいただきます。



真鍋尚之 Naoyuki MANABE

洗足学園大学（専攻／作曲・声楽）および東京芸術大学邦楽科雅楽専攻卒業。作曲および演奏での受賞多数。伝統に根ざしながら独奏楽器としての笙の地位を確立させ、さらに超絶技巧を用いた作品の演奏で笙の魅力を飛躍的に発展させた。文化庁文化交流使としてドイツを中心に笙の新しい可能性を追求した作品を作るための共同作業をおこなった。作曲家としても多くの作品を手がけ、オーケストラ作品などは世界各地で演奏されている。活動は日本のみならずヨーロッパや中南米におよぶ。
<http://sho-manabe.net>

Naoyuki MANABE GAGAKU Ensemble

真鍋尚之の呼びかけにより優秀な若手の演奏家を集め、2015年より横浜市内の小学校でのワークショップや演奏を中心に活動を展開。従来の団体や流派の垣根を越え、東京藝術大学・國學院大学・天理大学などで雅楽を学んだ一戦で活躍する奏者を中心に、雅楽を日本のみならず世界に伝え、理解を図る事を目的に2020年9月結成。
NMGEは雅楽の伝統を変えずに、新しい演奏方法や鑑賞方法を模索してきました。久良岐能舞台や大塚遺跡の庭園を利用し、自然の織りなす音と人が作り出す音が調和する演奏スタイルや、空間を利用した演出、またソリストの集まりである特徴を活かし小編成ながら楽器の特徴を発揮する新たなプログラムを構成。雅楽の伝統と魅力を最大限に提示しながら、新しい演奏方法や鑑賞方法を展開している。

チケット
発売日 フォンテメンバーズ先行販売 2021年11月12日(金)
一般チケット販売 2021年11月19日(金)

※いずれも発売初日は、窓口販売・WEB販売共に10:00から受け付けます。
※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、今後の状況によっては販売方法や座席数など変更になる場合があります。

チケット
取り扱い **窓口販売** テアトルフォンテ 受付カウンターで販売
電話予約 045-805-4000 (10:00～20:00 休館日を除く)

電話予約後、原則として1週間以内に、**窓口でお支払い・お受け取り**ください。

WEB・電話販売 Confetti (カンフェティ)

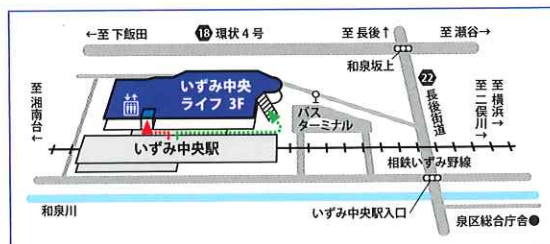
<http://confetti-web.com/manabe2022>

電話：0120-240-540 *通話料無料

(受付時間 平日 10:00～18:00 ※オペレーター対応)

▶ご予約後、予約有効期間内にセブン-イレブン店頭レジにてチケットをお受け取りください。

▶WEB予約の場合「カンフェティ」への会員登録（無料）が必要となります。



▲改札口を出てローゼン入口左手のエレベーターで3Fへ

▲正面入口は、改札を出て右に直進、ロータリーの手前、左手の階段を上る。

相鉄いずみ野線「いずみ中央」駅下車
(横浜駅から快速で約30分、湘南台駅から各駅停車で約5分)
※通勤特急は停まりません。
東京、横浜方面からお越しの場合は相鉄線「二俣川」駅で
いずみ野線に乗り換えて約12分

バス
神奈中バス「泉区総合庁舎前」下車
戸塚バスセンターから約25分、長後駅から約10分
立場ターミナルから約10分

お問い合わせ



横浜市泉区民文化センター
テアトルフォンテ

(指定管理者 神奈川共立・相鉄企業 共同事業体)
〒245-0023 横浜市泉区和泉中央南 5-4-13
TEL: 045-805-4000
メール: mail@theatre-fonte.com
<http://theatre-fonte.com/>

テアトルフォンテ
公式 LINE

